

依頼試験のご利用方法

東京都立皮革技術センター台東支所

皮革技術センター台東支所では、靴および靴材料に関する試験を行っています。製品の品質管理や納品時の試験結果添付のために当所をご利用される企業の方々から、利用方法や試験に関する問い合わせがあります。試験受付から成績書受取までの流れと、依頼件数が多い試験項目について簡単な試験内容と試験に必要な試料数や大きさ等をご説明します。

その他の試験項目や試験方法等の詳しい内容につきましては、事前に電話でお問い合わせ下さい。

【試験受付】

1 窓口にて受付

試験用試料、手数料（別表）を窓口へご持参下さい。郵送、宅配便等による受付は行っておりません。受付時間は、祝祭日および年末年始を除く月～金曜日の9時～17時です。12時～13時の間は、お待ちいただく場合があります。

2 受付内容

受付窓口では以下の内容を確認します。

(1) 会社名および所在地

会社名は領収書、成績書と同じあて先になります。

(2) 担当者名、連絡先電話番号

成績書発行の連絡や問い合わせのために必要です。

(3) 試料について

- ・品名（婦人靴、ヒール、甲材料、表底等）
- ・仕様（品番、商品名、材質等）
ただし、当所の証明事項ではありません。
- ・試料数（別表参照）
- ・試験項目

(4) その他

複数の試料や試験項目がある場合は、成績書を試料ごと、項目ごとに分けるか分けないかを申し出て下さい。

(5) 手数料の納入

所定の手数料を現金でお支払い下さい。

(6) 領収書、承諾書の発行

領収書、承諾書および成績書引換券を受付番号ごとに発行いたします。成績書引換券は成績書受取時に窓口にご持参下さい。

----- ここまで 受付当日 -----

【試験中】

試験は受付番号順に行います。

成績書発行までの日数は、ご依頼の内容や混み具合によって異なります。試験が終了し、成績書が出来上がり次第、当所から電話で連絡をします。それまでお待ち下さい。

----- この間1週間～10日程度 -----

この間のお問い合わせは、受付番号をご確認の上ご連絡下さい。

【成績書受取】

当所から成績書発行の電話連絡がありましたら、成績書を窓口でお受け取り下さい。持参された成績書引換券で受付番号を確認してお渡しいたします。

このとき、試験済み試料や残り試料も一緒に返却いたします。

受付番号について

領収書、承諾書および成績書の右上に受付順につけられた同一の番号が記入されています。

お問い合わせの時には、この番号を申し出て下さい。

領収書	No.-27〇〇〇〇
承諾書	27皮技セ支試第〇〇〇〇号
成績書	27皮技セ支試第〇〇〇〇号の2

別表 主な試験項目と試験に必要な試料数および手数料

	試験項目名 (試験規格)	試験内容	試験に必要な試料数または大きさ	手数料 (円)
1	ヒール取付強さ (ISO 22650)	ヒールを取り外す のに要する力	ハイヒールの靴1足 (片足でも同料金) (低ヒール、形状等により試験不可能の場合あり)	3,780
2	ヒール耐疲労性 (ISO 19956)	歩行により繰り返 しかかる小さな衝 撃に対する耐久性	ハイヒールのヒール単 独で3個まで (3個以下でも同料金。 靴の場合は依頼者によ り取り外して試験) (低ヒール、形状等によ り試験不可能の場合あ り)	4,920
3	ヒール衝撃強さ (ISO 19953)	突発的に受ける大 きな衝撃に対する 強さ	ハイヒールのヒール単 独で3個まで (3個以下でも同料金。 靴の場合は依頼者によ り取り外して試験) (低ヒール、形状等によ り試験不可能の場合あ り)	3,510
4	染色摩擦堅ろう度 (JIS S 5050)	色落ちによる綿白 布の汚染の程度	・靴材料 15cm×15cm (甲革、中敷、裏革等) ・靴 3cm×12cmが3本採取可能な大きさ	1,060
5	耐摩耗性 ・表底 (ISO 20871) ・甲、裏、中敷 (ISO 17704)	着用による材料の 摩耗抵抗	・表底 厚さ2mm以上片足 ・甲、裏、中敷材料 20cm×20cm	6,300
6	表底はく離強さ (JIS T 8101)	表底の接着強度	靴1足 (片足でも同料金。爪先 はく離強さを含む) (底材、甲材料、形状 により試験不可能の 場合あり)	3,530
7	爪先はく離強さ (JIS S 5050)	爪先の接着強度	靴1足 (片足でも同料金。表 底はく離強さと共に 依頼した場合は無 料) (底材、甲材料、形 状により試験不可 能の場合あり)	2,150
8	その他		電話または受付時に 相談して下さい。	

【試験受付Q & A】

1 ヒール取付強さの試験について

Q. 靴1足分が必要ですか。

A. 左右のばらつきを見るため、なるべく1足お持ちください。

Q. 低ヒールの靴は試験できますか。

A. ヒールの高さや形状により、できる場合とできない場合がありますので、受付窓口を持参してください。

2 ヒール耐疲労性、ヒール衝撃強さの試験について

Q. ヒールは3個必要ですか。

A. ばらつきを見るため、なるべく3個お持ちください。

Q. 低ヒールの試料でも試験できますか。

A. ヒールの高さや形状により、できる場合とできない場合がありますので、受付窓口を持参してください。

3 染色摩擦堅ろう度の試験について

Q. ハンドバッグ用革や衣料用革の試験をしてもらえますか。

A. 皮革技術センター（本所）で受付しています。

4 耐摩耗性の試験について

Q. トップピースの試験ができますか。

A. 直径16mm以上の大きさのものを5個以上ご用意ください。これより小さい直径の試料については、規格どおりの試験ができないため結果の表示方法が異なります。

Q. 製品靴の中敷を試験できますか。

A. 靴から取外して試験します。靴1足分が必要です。

5 その他

Q. 靴1足でヒールに関する複数項目を試験できますか。

A. 1つの項目を試験した後に同じ試料で別の試験を行うことはできませんので、必要な個数分を用意してください。用意できない場合は、靴片足ずつで例1～例3のような試験することが可能ですが、それぞれ所定の個数を試験した時と同額の手数料が必要です。

例1－ヒール取付強さ、ヒール耐疲労性

例2－ヒール取付強さ、ヒール衝撃強さ

例3－ヒール耐疲労性、ヒール衝撃強さ

Q. ヒール耐疲労性とヒール衝撃強さの試験を依頼してすでに成績書を受け取ったが、成績書を別々にしてもらえますか。

A. 1つの受付番号に対し、発行できる成績書は1通です。1つの番号で受けたものを別々の成績書にすることはできません。受付時に申し出ただければ、試験項目ごとに受付をして、それぞれの成績書を発行します。